

科目名	AutoCAD II						
科目名(英)	AutoCAD practice II						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	福光 春子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	建材メーカー設計室にて、建築・施設設計担当。今も実務に従事。		
対象学科・学年	建築工学科・インテリアデザイン科・建築学科(昼) 2年						
授業概要	演習を通して、レイアウト空間での印刷スキルの習得及びCAD操作の正確さ、図面の読図能力、応用力の習得を図る						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				建築設計ツールの一つであるAutoCADの機能について学び、必要な機能を選択し使用することができる。	
	○	○				授業を通じて図面の種類を学び、図面と図面の関係性を立体的に捉え作図することができる。	
	○	○				意匠図の作図を通じて部屋の広さや高さを学び、建物の計画に応用することができる。	
	○	○				構造図面の作図を通じて木造住宅の構造を学ぶと共に、部材の名称を答えることができる。	
○	○				授業を通して建築図面の作図手順を学び、建築計画時に応用することができる。		
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:超入門 建築製図(市ヶ谷出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	2	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	3	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	4	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	5	鉄筋コンクリート住宅 断面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	6	鉄筋コンクリート住宅 断面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	7	鉄筋コンクリート住宅 立面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	8	鉄筋コンクリート住宅 立面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	9	鉄筋コンクリート住宅 配置図、レイアウト空間での印刷			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	10	鉄骨造住宅 1階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	11	鉄骨造住宅 1階平面図②、鉄骨造住宅 3階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	12	鉄骨造住宅 2階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	13	鉄骨造住宅 断面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	14	鉄骨造住宅 断面図②、鉄骨造住宅 立面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
15	鉄骨造住宅 立面図②、印刷			授業内容の復習 データ提出			
評価方法	(1) 練習問題を数回実施する。(2) 授業課題の提出を求める。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出状況	◎	◎				50%
	練習問題(スピードと正確さ)	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合、提出課題が未提出の場合は履修単位を与えない。						

科目名	建築環境工学						
科目名(英)	Architectural Environmental Engineering						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	竹田 真志		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	望ましい室内環境を形成するための物理的・生理的・心理的な知見を整理・統合し、建築計画に役立て、二級建築試験における学科Ⅱ(環境工学)の問題に対応出来るようになる						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				環境工学の要素(日射・光・色彩・空気・湿気・温熱・音)に関連する各図を読み解くことができる	
	○	○				環境工学の要素(日射・光・色彩・空気・湿気・温熱・音)の特徴と留意事項について説明できる	
	○	○				環境工学の要素(日射・光・色彩・空気・湿気・温熱・音)に関して計算式を用いて必要な数値を算出することができる	
	○	○				環境工学の要素(日射・光・色彩・空気・湿気・温熱・音)の課題点と対策について述べるることができる	
テキスト・教材 参考図書	建築環境工学 市ヶ谷出版 オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	建築環境工学の役割					
	2	太陽位置と日照・日影の関係				教科書予習する	
	3	日影曲線・日影時間				教科書予習する	
	4	日射量・日射調節				教科書予習する	
	5	光環境・測光量・照度計算				教科書予習する	
	6	明視条件・採光				教科書予習する	
	7	採光による照度計算・採光計画				教科書予習する	
	8	人工照明・照度計算(光束法)				教科書予習する	
	9	色彩の表し方・表色法				教科書予習する	
	10	色彩の効果・色彩計画				教科書予習する	
	11	室内空気汚染物質と許容濃度				教科書予習する	
	12	各汚染物質に伴う必要換気量の計算				教科書予習する	
	13	自然換気の種類と風力換気の計算				教科書予習する	
	14	自然換気・温度差換気の計算・通風				教科書予習する	
	15	機械換気方式・換気計画				期末試験のため今までの振り返りをする。	
評価方法	期末試験結果と授業内での理解度確認テストの結果による。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	宿題・レポート	○	○				10%
履修上の注意	出席率60%が単位付与条件とする。						

科目名	建築設備						
科目名(英)	Building Facilities						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	峯元 幹雄		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	総合メーカー建築技術担当。建材・都市開発・住宅部門に従事		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	建築に関する基礎的で包括的な専門知識として、また、建築環境・設備分野での技術者として必要な設備計画に関する基礎知識を修得する。						
授業形式	講義: ○	演習: -	実習: -	実技: -	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			建築設備の役割・種類・構成を説明できる		
	○	○			空気調和方式の種類・特徴を説明できる		
	○	○			空気線図を読み解き、空調負荷について説明することができる		
	○	○			建築計画における省エネ手法を導き出せる		
	○	○			昇降機設備の種類と仕組みを理解する。		
テキスト・教材 参考図書	初学の建築講座 建築設備 第3版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	建築設備概要(1・1建築設備とは)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	給排水衛生設備 2・1給排水衛生設備とは			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	2・2給水設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	2・3給湯設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	2・5排水・通気設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	2・6排水処理設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	2・7衛生器具設備 2・8消火設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	空気調和設備 3・1空気調和設備とは 3・2空気調和と室内環境			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	3・3空気の状態を知る 3・4空調負荷の考え方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	3・5空気調和方式の種類 3・6熱源・熱搬送設備と機器部材			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	3・7換気・排煙設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	電気設備 4・1電気設備とは			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	4・2受変電・幹線設備			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	4・5照明・コンセント設備 4・6情報・通信設備搬送設備 5・1・1エレベーター			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	まとめ			本科目における学習内容を復習しておくこと		
評価方法	定期試験規定にもとづき、試験(筆記)を実施する。小テスト及び宿題レポートを数回実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	◎				10%
	宿題・レポート	○	○				10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	建築施工Ⅱ						
科目名(英)	Building Construction Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	集路 正巳		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	総合建設会社にて、主に施工管理職として勤務		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	前期で学んだ施工Ⅰに続き、鉄骨工事以降の建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を学ぶ。また、建物完成後の業務に関しても、概要を学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目 標	
	○	○				建築生産の仕組みを理解し、説明できる	
	○	○				請負契約から工事計画、工事管理まで理解し、説明出来る	
	○	○				建築工事を構成する様々な工種を理解し、概要を説明できる(仮設・土・地業・鉄筋・型枠・コンクリート)	
テキスト・教材 参考図書	初学者の建築講座 建築施工(第三版) 市ヶ谷出版社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	鉄骨工事(概要、工場製作①)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	鉄骨工事(工場製作②)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	鉄骨工事(工場製作③)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	鉄骨工事(工場製作④、現場施工①)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	鉄骨工事(現場施工②)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	鉄骨工事(現場施工③)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	鉄骨工事のまとめ、確認テスト①				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	屋根工事、防水・シーリング工事				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	仕上工事の考え方、左官工事、タイル工事				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	石工事、建具・ガラス工事、金属工事				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	内装工事				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	塗装・吹付工事、ユニット工事、断熱工事、外壁工事				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	設備工事(電気、給排水・衛生、空調)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	設備工事(昇降機設備工事)、完成時・完成後の管理				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	確認テスト②、期末試験対策				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	小テスト	○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	3D・CAD I						
科目名(英)	3D・CAD (ArchiCad)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	山崎 孝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	2DCAD基本に、3DCADの基本操作を学ぶ。図面模写を繰り返し実力をつけ、オリジナルプランから仮想空間がデザインできるようになる。						
授業形式	講義	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	基礎 情報	目的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○				A2D作図方法の操作 復習し、問題なく基本操作ができる。		
	○				3D作図・プランニング3D作図の基本操作が問題なくできる。		
	○				3D作図作業課題図面を用いて3D作図を完成させることができる		
○				プランニングプランニング仮想施主であるパートナーとの3D作図を完成させることができる			
テキスト・教材 参考図書	GRAFISOFT Archi Cad-(Magic1)+オリジナル資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1・2	前授業の復習2D作図方法の操作			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	3・4	3D作図・プランニング3D作図の基本操作 3D作図・プランニング3D作図の概念の説明			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	5・6	3D作図・プランニング3D作図の基本操作 3D作図・プランニング課題図面を用いて3D作図①			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	7・8	3D作図作業課題図面を用いて3D作図②			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	9・10	3D作図作業課題図面を用いて3D作図③			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	11・12	3D作図作業課題図面を用いて3D作図④			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	13・14	3D作図作業課題図面を用いて3D作図⑤			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	15・16	3D作図3D作図・プランニングプランニング二人一組によるプランニング 3D作図3D作図・プランニングプランニング平面プランの確認、まとめ			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	17・18	3D作図3D作図・プランニングプランニング二人一組によるプランニング 3D作図3D作図・プランニングプランニング平面プランの質疑応答			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	19・20	3D作図3D作図・プランニングプランニング二人一組によるプランニング 3D作図3D作図・プランニングプランニングオリジナルプラン3D作図 3D作図3D作図・プランニングプランニング質疑応答			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	21・22	3D作図3D作図・プランニングプランニング二人一組によるプランニング 3D作図3D作図・プランニングプランニングオリジナルプラン3D作図 3D作図3D作図・プランニングプランニング質疑応答			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	23・24	3D作図・プランニングオリジナルプラン3D作図 3D作図・プランニング質疑応答			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
	25・26	3D作図3D作図・プランニングプランニング仮想施主であるパートナー と相互のプランチェック 3D作図3D作図・プランニングプランニングプラン修正			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。		
27・28	3D作図3D作図・プランニングプランニング仮想施主であるパートナー と相互のプランチェック 3D作図3D作図・プランニングプランニングプラン修正			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。			
29・30	3D作図3D作図・プランニングプランニング仮想施主であるパートナー への相互のプランチェック			授業後、繰返しの練習を推奨する。 課題は次の授業までに終わらせること。			
評価方法	2課題の提出・内容 以上の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
			◎				50%
			◎				50%
履修上の注意	出席回数が授業回数の2/3に満たない場合は、提出状況は関係なく単位を与えない						

科目名	建築設計製図 IV						
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING IV						
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	古賀 俊光		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	設計事務所にて建築デザイン に従事		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	進級制作課題としてこれまで学習した設計製図の基本を活かし、建築士の設計製図試験レベルのエスキス、製図技術の習得とともに建築実務にも役立つ知識と技術、並びにグループでの協同作業の術を身につける。 就職の際に役立つプレゼンテーション能力とポートフォリオ(作品集)の作成技術を習得する。 社会に対する問題提起あるいは問題解決能力を建築設計を通じて養う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	○	○	○	○	実際の敷地を見学し事例収集などを含めた調査から法令遵守した建築計画・建築設計を行うことができる。		
	○	○	○	○	地域環境、生活者の立場に立脚したコンセプトを立案することができる。		
	○	○	○	○	設計した内容についてプレゼンテーションが出来る。		
	○	○	○	○	役割分担を明確にし、計画的かつ能率的なグループワークによる協働を遂行出来る。		
テキスト・教材 参考図書	彰国社 定番建築製図入門 参考図書:各種建築雑誌・二級建築士試験設計製図試験最端エスキスコード・建築系学生のための卒業設計の進め方 他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ガイダンス・課題説明					
	2	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	3	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	4	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	5	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	6	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	7	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	8	現地調査・エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	9	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	10	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	11	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	12	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	13	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	14	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	15	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	16	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	17	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	18	エスキース			遅れている分は時間外に実施		
	19	中間プレゼン用PP作成			遅れている分は時間外に実施		
	20	中間プレゼン用PP作成			遅れている分は時間外に実施		
	21	中間プレゼン用PP作成			遅れている分は時間外に実施		
	22	中間プレゼン			遅れている分は時間外に実施		
	23	中間プレゼン			遅れている分は時間外に実施		
	24	中間プレゼン			遅れている分は時間外に実施		
	25	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	26	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	27	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	28	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	29	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	30	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	31	図面制作			遅れている分は時間外に実施		
	32	プレゼンボード・プレゼンPP作成①			遅れている分は時間外に実施		
	33	プレゼンボード・プレゼンPP作成①			遅れている分は時間外に実施		
	34	プレゼンボード・プレゼンPP作成①			遅れている分は時間外に実施		
	35	プレゼンボード・プレゼンPP作成①			遅れている分は時間外に実施		
	36	設計図面提出(提出物B)、プレゼンボード・プレゼンPP作成②			遅れている分は時間外に実施		
	37	プレゼンボード作成・プレゼンPP③、総仕上げ			遅れている分は時間外に実施		
	38	プレゼンボード作成・プレゼンPP③、総仕上げ			遅れている分は時間外に実施		
	39	プレゼンボード作成・プレゼンPP③、総仕上げ			遅れている分は時間外に実施		
	40	プレゼンテーション・講評会			遅れている分は時間外に実施		
	41	プレゼンテーション・講評会			遅れている分は時間外に実施		
	42	プレゼンテーション・講評会			遅れている分は時間外に実施		
	43	ブラッシュアップ			遅れている分は時間外に実施		
	44	ブラッシュアップ			遅れている分は時間外に実施		
45	ブラッシュアップ			遅れている分は時間外に実施			
評価方法	定期試験(筆記)は実施せず、成果物の内容、プレゼンテーション、グループワークなどを下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	設計評価		◎				50%
	プレゼンテーション力		◎				30%
	グループワーク		◎				20%
履修上の注意	2/3以上の出席を下回る場合は評価に関係なく単位を与えない。 グループワークの協働を怠り、私語、居眠り、離席、携帯電話使用、他教科を学習等、授業態度に問題がある場合は状況に応じ減点評価を行う。						

科目名	造形学Ⅳ						
科目名(英)	Architectural modeling Ⅳ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	古賀 俊光		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	設計事務所にて建築デザインに従事		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	設計製図の課題で制作物の模型を作成する。 近年、パソコン・CGの技術が高くなり、現場でも模型を製作する機会が減ってきています。しかし、建築の知識のない施主には模型を作成し提示することは建物をイメージしやすく、プレゼンテーションとしては有効なものである。本授業では設計した作品を模型で作成する技術力・表現力を学習する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				模型を作成する手順を考えることができ、スケジューリングができる	
	○	○				模型完成を見据え使用材料を選定することができる	
テキスト・教材 参考図書	テキスト: 定番 建築製図入門						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ガイダンス・模型の大きさ・必要材料の拾い出し					
	2	模型作成用の図面作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	3	敷地・土台作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	4	道路・敷地作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	5	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	6	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	7	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	8	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	9	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	10	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	11	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	12	建物本体作成				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	13	外構部分作成①				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	14	外構部分作成②				予定に遅れている内容は時間外に取組むこと	
	15	総仕上げ・微調整					
評価方法	(1)期限内に課題を提出すること (2)課題の完成度・正確性・丁寧さを評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出状況		○	○			30%
	課題作品完成度		○	○			70%
履修上の注意	①出席回数が授業回数の2/3に満たない場合 該当する場合は単位を与えない。						

科目名	Photoshop Illustrator II						
科目名(英)	Photoshop Illustrator II						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松本 剛太		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築CAD科 ・ インテリアデザイン科 ・ 建築学科(昼) 1年 建築工学科 2年						
授業概要	Illustratorの基本操作と、業界における重点を学ぶ それら基礎知識の浸透が目的						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					Illustratorの役割を理解する	
	○					Illustratorによる適切なレイアウト処理ができる	
	○					画像の基礎知識を理解している	
	○					Photoshopとの連携を意識した処理ができる	
テキスト・教材 参考図書	情報リテラシー Office2016						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	IllustratorとPhotoshopの基本 ベクトルとラスターの理解			Illustratorのインストール		
	2	図形や線を描く					
	3	オブジェクトの選択と基本的な変形					
	4	色と透明度の設定 CMYK版について					
	5	オブジェクトの編集と合成					
	6	線と文字の設定					
	7	その他有効活用すべき機能					
	8	紙面レイアウト演習1 文字の役割					
	9	紙面レイアウト演習2 段組の活用					
	10	PhotoshopとIllustratorの連携 画像の配置とその機能特性					
	11	Illustrator練習問題1 練習問題の解説					
	12	Illustrator練習問題2 練習問題の解答					
	13	Illustrator練習問題 回答と解説					
	14	Illustrator練習問題3 解説なしでの独力解答					
15	Illustrator練習問題3 解答と解説						
評価方法	練習問題を小テストととして評価 2種実施、その提出により評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				80%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意							

科目名	就職実務 I B						
科目名(英)	Career Study 1B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	各クラス担任		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 具体的には、就職活動における基礎的な振る舞いを身に着け、習慣化する						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職活動に必要な自己分析を行うことができる	
	○					基本的な面接対応ができる	
		○				メール対応など、就職活動に必要なコミュニケーション知識がある	
	○	○				企業研究の方法を知っている	
	○				学校求人を利用するための条件を知っている		
テキスト・教材 参考図書	学校支給のGCBテキスト 就職活動ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	企業講話 実践的な課題の提案 *メールアドレスの確認と管理					
	2	就職活動に関する心構え 建築系の仕事とは					
	3	就職活動に関する心構え 業界で必要なサービス精神					
	4	就職活動に関する心構え 必要なスキル					
	5	就職活動に関する心構え 課題作品の模擬プレゼンテーション1					
	6	就職活動に関する心構え 課題作品の模擬プレゼンテーション2					
	7	就職活動に関する心構え 課題作品の模擬プレゼンテーション3					
	8	就職活動に関する心構え 課題作品の模擬プレゼンテーション4					
	9	・履歴書の書き方 ・メールアドレスの管理					
	10	・履歴書の書き方 随時添削 ・メールアドレスの管理					
	11	・履歴書提出と添削					
	12	就職活動スケジュールを確認 及び 順次個人面談と企業対策					
	13	就職活動スケジュールを確認 及び 順次個人面談と企業対策					
	14	就職活動スケジュールを確認 及び 順次個人面談と企業対策					
15	就職活動スケジュールを確認 及び 順次個人面談と企業対策						
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				10%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	建築計画Ⅳ						
科目名(英)	Architectural Planning IV						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	赤星 亜美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	建築計画とは何かを説明できる 既存の建築計画を調査・研究している これからの社会情勢に応じた建築計画を模索する意志を有する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				既存の建築計画の調査、研究が出来る	
	○	○				事務所ビルの理解ができ計画が出来る	
	○	○				音楽ホール、劇場の構造上の特徴を把握し、建築計画を立てられる	
	○	○				百貨店、スーパーマーケットの構造上の特徴を把握し、建築計画を立てられる	
	○	○				宿泊施設、駐車場の構造上の特徴を把握し、建築計画を立てられる	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:初学者の建築講座 建築計画(改訂版) 参考図書:カラー版図説 建築の歴史 西洋・日本・近代、コンパクト建築設計資料集成、ホテル・旅館 市ヶ谷出版、「新建築」等の建築雑誌 その他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ガイダンス 6-1規模計画と経済効率			予習・復習することを心がける。		
	2	6-2事務所ビル 事務所ビルの変遷			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	3	6-2事務所ビル 事務所ビルの計画			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	4	6-2事務所ビル 各室計画			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	5	6-3劇場・音楽ホールの変遷			前回までの授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	6	6-3劇場・音楽ホールの計画			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	7	6-3劇場・音楽ホール 客席・舞台の計画			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	8	6-4百貨店・スーパーマーケットの変遷			前回までの授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	9	6-4百貨店・スーパーマーケット 大規模小売店舗の計画			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	10	6-4百貨店・スーパーマーケット 売り場の計画・駐車場			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	11	6-5 宿泊施設 定義・種類・分類・機能・基本条件			前回までの授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	12	6-5 宿泊施設 構成要素・部門・所要室・規模			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	13	6-5 宿泊施設 ゾーニング・動線計画宿泊施設			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	14	6-5 宿泊施設 6-6 駐車場			予習・復習することを心がけ、学んだ分野の建築を実際に見学することを推奨する。		
	15	総括 I			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	宿題・レポート	○	○				10%
履修上の注意	上記評価及び出席率60%が単位付与条件とする。						

科目名	キャリア教育 I (選択)						
科目名(英)							
単位	2単位	時間数	30時間	担当者	各クラス担任		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	企業が求める人材を把握し、就職活動を円滑に進めるための意識付けと、求職票・履歴書の具体的な書き方や面接対策など、そのまま就職活動に活かせる実践的な演習を中心に授業を進めていく						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自己分析を基に、自己PRをまとめることができる	
	○	○				企業の目線を意識した志望動機を書くことができる	
	○	○				面接時の基本的なマナーが身につく、問題なくふるまうことができる	
	○	○				面接官の質問に対し、問題なく受け答えができる	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職活動のための準備 ガイダンス					
	2	求職票の書き方 「自己PR」の書き方				自己の強みと弱みについて自分なりに自己分析しておくこと	
	3	求職票記入 下書き・添削					
	4	履歴書の書き方 「学生時代に力を入れたこと」「志望動機」など				自己の学生時代の経験、また希望企業への志望動機を自分なりに考えておくこと	
	5	求職票受付面接について 概要説明					
	6	求職票受付面接練習 入退室・立ち居振る舞い・おじぎ				授業内で学習したマナーは日常生活の中でも意識して行うこと	
	7	求職票受付面接練習 面接官の視点・第一印象について					
	8	求職票受付面接練習 質問と答え方、正しい敬語の使い方 ①					
	9	求職票受付面接練習 質問と答え方、正しい敬語の使い方 ②					
	10	求職票受付面接練習 通して実践練習					
	11	求職票受付面接練習 通して実践練習					
	12	求職票受付面接練習 通して実践練習					
	13	企業研究 実際に合同企業説明会・セミナーに参加				参加する企業について、事業内容、事業規模等事前に調べておくこと	
	14	企業研究 実際に合同企業説明会・セミナーに参加					
15	いろいろな報告書の書き方 ビジネス文書の作成				学んだ文書の書き方について復習しておくこと		
評価方法	(1)受講態度・意欲 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				70%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	検定対策ゼミB(選択)インテリアコーディネーター						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	赤星 亜美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	オーダー家具制作会社でインテリアコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	インテリア産業協会主催インテリアコーディネーター検定対策の学習を通して、建築概要とインテリアコーディネーター知識のより専門的な知識の習得を図る						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○	○			インテリアコーディネーター次試験合格レベルの知識を身につけることができる		
	○	○			インテリアコーディネーター二次試験合格レベルの知識を身につけることができる		
テキスト・教材 参考図書	テキスト:インテリアコーディネーター合格教本(上・下) インテリアコーディネーター問題集(上・下) その他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	15章 建築関連法規					
	2	8章 各種エレメント			予習・復習することを心がける。		
	3	16章 消費者関連法規			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	4	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	5	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	6	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	7	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	8	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	9	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	10	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	11	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	12	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	13	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	14	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
	15	模擬試験			前回の確認テスト実施。予習・復習することを心がける。		
評価方法	(1)小テストを各章が修了した次の授業で実施する。(2)20回目から宿題あり。(3)全国模試を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	全国模試	○					50%
	小テスト	○					25%
	宿題	○					25%
履修上の注意							

科目名	検定対策ゼミB(選択)宅地建物取引士						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森行 美枝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	宅建試験の合格も視野に、試験の問題演習を通して、建築物を取引する不動産権利取引に関する知識を修得する。それにより、建築物の財産的価値の重要性を認識できる視点を養う。後期は特に重要ポイントを絞り込んだ総合的な演習も盛り込む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				宅建業の業務内容と役割の特に重要な部分について、関連条文の規定を用いて説明できる	
	○	○				宅地建物取引士の実務における重要事項を条文規定を用いて正しく説明できる	
	○	○				民法の権利義務関係について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる	
	○	○				不動産取引手続きに関する問題について、小テスト・模擬テストで平均正答率60%以上を出すことができる	
					○	宅地建物取引士資格試験合格	
テキスト・教材参考図書	出る順 宅建士 ウォーク問過去問題集2018年版①～③【東京リーガルマインド】						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	用語の定義/免許制度/宅建士制度営業保証金/保証協会/媒介契約等の規制			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	2	重要事項の説明/37条書面 8種制限/業務上の諸規制/監督・罰則/単元テスト			正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	3	報酬/住宅瑕疵担保履行法			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	4	制限行為能力者/意思表示/代理時効/不動産物権変動/物権関係			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	5	抵当権/保証・連帯保証/連帯債務債権譲渡/債務不履行と解除/弁済・相殺/売買/単元テスト			正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	6	借地借家法/借地借家法			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	7	区分所有法/不動産登記法/単元テスト			正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	8	都市計画/開発許可制度/建築基準法(単体規定・集団規定)/宅地造成等規制法			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	9	土地区画整理法/農地法/国土利用計画法/諸法例			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	10	国土利用計画法/諸法例/不動産取得税/固定資産税			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	11	不動産譲渡所得/登録免許税/印紙税/贈与税			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	12	地価公示法/不動産鑑定評価基準/単元テスト			正答できなかった問題は復習、または担当教員に質問するなどして不明点を明らかにしておくこと		
	13	住宅金融支援機構/景品表示法/土地/建物/統計			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
	14	全国模擬試験①			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること		
15	全国模擬試験②			学習した箇所は必ず復習し、不明点は担当教員に質問して理解に努めること			
評価方法	(1)単元テスト(2)模擬試験(3)宅地建物取引士資格試験の点数で評価する 成績評価基準は、平均正答率 S(90%以上)・A(80%以上)・B(70%以上)・C(60%以上)・D(59%以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	単元テスト	○	○				40%
	模擬試験	○	○				40%
	宅地建物取引士資格試験					○	20%
履修上の注意	難しい法律用語が多々出てくるので、用語の意味をその都度細かく確認すること						

科目名	検定対策ゼミB(選択)2級建築施工管理技士資格試験						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	集路 正巳		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	総合建設会社にて、主に施工管理職として勤務		
対象学科・学年	建築工学科 2年						
授業概要	前期ゼミでは、本試験(学科)に対応できる知識を身につける事に重点を置きました。後期ゼミでは、11月の本試験合格を視野に、過去問題演習を中心に実力(正解率60%以上)を身につけていきます。また、模擬テスト(3回以上)を実施し弱点を洗い出し得点力アップを目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。	
	○	○				過去問の平均正解率60%以上を獲得できる。	
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト(2020年度版)市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集(2020年度版)市ヶ谷出版社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	実力確認テスト/本試験の概要説明など				<p>・後期ゼミは演習中心となります。問題解説は数が限られてしまうため、必ず自分で(解説書を)確認してください。</p> <p>・宿題がほぼ毎回出ます。必ず、消化してゆく事。(弱点の洗い出しに役立ちます)</p>	
	2	過去問題演習・解説01					
	3	過去問題演習・解説02					
	4	過去問題演習・解説03					
	5	過去問題演習・解説04					
	6	過去問題演習・解説05					
	7	模擬テスト①					
	8	過去問題演習・解説06					
	9	過去問題演習・解説07					
	10	過去問題演習・解説08					
	11	過去問題演習・解説09					
	12	過去問題演習・解説10					
	13	過去問題演習・解説11					
	14	模擬テスト②					
15	直前模擬テスト③						
評価方法	(1)授業中に小テストを実施する。(2)模擬テスト(3回程度)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬テスト	○	◎				70%
	小テスト	○	◎				30%
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。						

科目名	数学ゼミⅡB						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	吉田 麻美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科・建築CAD科・インテリアデザイン科 2年						
授業概要	建築の各学科において必要とされる、基礎的な数学スキルの復習と習熟を目指す						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				正三角形・二等辺三角形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形の合同条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				平行四辺形の性質と条件を利用した基本問題が解ける	
	○	○				三角形・四角形の性質と条件を利用した応用問題が解ける	
	○	○				三角形と四角形を用いた証明問題が解ける	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル演習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【演習問題】 三角形と四角形 正三角形・二等辺三角形の性質と条件				解答出来なかった問題は必ず復習・解答の上再提出すること。また、理解できなかった問題は質問事項を記入して担当教員に提出すること。	
	2	【演習問題】 三角形と四角形 直角三角形の合同条件					
	3	【演習問題】 三角形と四角形 平行四辺形の性質と条件					
	4	【演習問題】 三角形と四角形 特別な平行四辺形					
	5	【演習問題】 三角形と四角形 面積が等しい三角形					
	6	【演習問題】 三角形と四角形 空間図形の中の三角形と四角形					
	7	【演習問題】 三角形と四角形 証明問題まとめ					
	8	【演習問題】 三角形と四角形 総合復習・まとめ					
評価方法	(1) 受講態度・意欲 (2) 課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				70%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	BIM 専攻 II B(選択)						
科目名(英)	Building Information Modeling II B						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	道脇 力		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	建築工学科・建築CAD科・建築学科(昼) 2年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 各用途の建築計画的理解と表現。 						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。	
			○			BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
		○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	課題:複合ビル「制作②」			情報、資料収集を行うこと		
	2	課題:複合ビル「制作③」			情報、資料収集を行うこと		
	3	課題中間報告(発表)			発表資料の確認を行うこと		
	4	課題:複合ビル「制作④」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	5	課題:複合ビル「制作⑤」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	6	課題:複合ビル「制作⑥」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	7	課題:複合ビル「制作⑦」			必要提出資料の確認を行うこと		
	8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」			必要提出資料の確認を行うこと		
評価方法	(1)発表・作品 (2)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		◎				50%
	課題提出		◎				50%
履修上の注意	出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。						